朝日まちづくり計画

令和６年４月

朝日まちづくり協議会

目　　次

第１章　計画の概要　－－－－－　２

１．策定の趣旨　－－－－－　２

２．計画の構成　－－－－－　２

３．計画の目標年次　－－－－－　２

第２章　朝日地域を取り巻く現状と課題　－－－－－　３

１．朝日地域の概要　－－－－－　３

２．朝日地域の課題　－－－－－　４

第３章　基本構想　－－－－－　５

１．目指すまちの姿　－－－－－　５

２．基本理念　－－－－－　５

３．基本目標　－－－－－　５

４．基本計画　－－－－－　５

第４章　基本計画（主要施策）　－－－－－　６

第１章　計画の概要

１．策定の趣旨

朝日地域を取り巻く情勢は人口減少、少子高齢化を始めとして中山間地域特有の様々な課題が生じているため、朝日地域の優れた自然環境、文化を活かした取り組みが求められています。

「住んでよかった、住みたい個性あるまち朝日」を創造するためには、世代を超えた交流、助け合いなどの地域交流、地域の特性を活かした魅力づくり、住民一人ひとりが活躍できる場など「心の豊かさ」を持て「生活の質の高さ」が得られる環境づくりが必要です。
そのためには、住民・地域が自主性・自立性を高めながら個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ることが必要であり、地域づくりとは何かを朝日町民が意識し、行政と住民が共にまちづくりの当事者として協働しながら幸福感が得られるまちづくりを進めて行くことが大切です。

そこで、朝日まちづくり計画のもと行政と住民が協働し、ともに知恵や汗を出し合いながら魅力あるまちづくりを推進し、「住んでよかった、住みたくなるまち飛騨あさひ」の創造に向け策定するものです。

２．計画の構成

本計画は、「基本構想」および「基本計画」により構成されます。それぞれの計画の位置づけは以下のとおりです。

「基本構想」
基本構想は住民と行政が一体となってまちづくりを推進するため、「高山市総合計画」を踏まえ、まちの将来像を定めて、その実現を目指すものです。

「基本計画」
基本構想に沿い、その目標実現のための基本的施策を総合的かつ計画的に示し、実施計画の基礎となるものです。

３．計画の目標年次

この計画の期間は、令和６年度からの５か年とする中で、社会情勢等の変化に対応できるよう適宜見直すこととします。

第２章　朝日地域を取り巻く現状と課題

１．朝日地域の概要

地域の総面積	１８７．３７㎢
水系の特徴	分水嶺の南側に位置し、乗鞍岳（青屋川、二又川、九蔵川）、御嶽山（秋神川、西洞川、鈍引川）を水源とした飛騨川がまちの中心を流れ、支流の谷は急峻で大小多くの滝が存在する 豊富な水量を資源としたダム湖が３箇所存在する
山系の特徴	乗鞍岳の千町ヶ原から発する分水嶺、丸黒山(1956.3m)、牛首山(1408.3m)、六方山(1403m)、御嶽山の継子岳(2859.1m)、法仙峰(1745.6m)、濁河山(1633.6m)、大平山(1590.9m)、オコズリ山、栃尾山(1351.4m)、黒手山(1316.5m)、高屹山(1303.1m)、日ノ観ヶ岳(1105.6m)の峰々に囲まれ登山道が整備されている山も複数ある
標高	７１２ｍから２８５９ｍ
気候	夏は「太平洋型」の気候ですが、冬は積雪が多く、大陸からの季節風が強い「日本海型」の寒冷な気候
土地利用状況	山林９３．９%、農地１%、道路１%、河川１%

歴　史		明治８年に２４ケ村を合わせて「朝日村」になり、その後、同２１年の町村制公布後、同２２年に朝日村の一部が久々野村に編入し、朝日村が形成されました。行政区域は明治９年に岐阜県の所轄に移され、益田郡を経て、昭和２５年に高根村とともに大野郡に編入されました。その後、平成１７年に高山市と合併し、現在に至る。
産　業		農業は、稲作を中心に高冷地を利用したホウレンソウ、トマト、大根の栽培および飛騨牛の飼育が盛ん。 林業は、ほとんどが農業との兼業経営であり、林業労働力は高齢化と同時に減少している。 観光産業は、恵まれた自然資源を活用し、誘客促進を図っている。
文化財	県指定	・七本サワラ（甲） ・フクジュウソウ群落（大廣） ・スズラン・レンゲツツジ群落（西洞）
	市指定 (主な物)	・円空仏（小瀬、小谷、立岩、万石、大廣、浅井、青屋、黒川） ・地蔵尊（青屋） ・秋神イササ（秋神）、西洞獅子（西洞）、青屋獅子（青屋） ・ミズバショウ群生地（見座、西洞） ・立岩栃の木（立岩） ・枝垂桜（万石、青屋、西洞、浅井）
	その他	・乗鞍青屋登山道石仏 ・千町ヶ原 ・氷点下の森 ・神楽台（甲、立岩、万石） ・胡桃大滝、イノシシ滝、三ツ滝 ・龍巌山

２．朝日地域の課題

主要課題	主要課題への対応方針
少子高齢化、人口減少社会への対応	・2005年（平成17年）の朝日地域の人口は2,037人、2015年（平成27年）は1,652人、2024年（令和6年3月末現在）は1,404人と大きく減少し、高齢化率も40%以上と少子高齢化が着実に進行しています。 ・そうした中で、子どもから高齢者までそれぞれの階層において、生きがいと充実感をもって暮らし続けることができる地域づくりが必要となっています。
安全で安心して、楽しく暮らせる生活環境の整備	・近年、私たちを襲う災害は、地球温暖化等による異常気象により、大規模かつ多様化しています。災害による被害を最小限にとどめるために、日頃の防災活動や防災に対する知識と意識を備えておくことが必要となっています。「自助」、「共助」、「公助」の役割を認識し、災害に強い地域づくりをすすめることが必要となっています。 ・明るく豊かさをもって過ごすためには、健康な身体と健全な精神が大切です。朝日町民が、健康づくりなどに対する知識や意識を高め、楽しく暮らせる地域づくりをすすめることが必要となっています。
地域資源の保全と活用により地域の活性化	・朝日地域は、乗鞍や御岳の懐に広がり、鈴蘭高原や美女高原、カクレハ高原などのフィールドや谷間を縫って流れる清流等、豊かな自然や古くから伝わる伝統・文化が多く散在しています。また、地域の情報発信や特産品を販売する道の駅等の拠点を有しています。そうした資源をしっかり守り受け継ぐとともに有効に活用することにより、活力ある地域づくりを進めることが必要となっています。

第３章　基本構想

１．目指すまちの姿

「住んでよかった、住みたくなるまち飛騨あさひ」
　町民の誰もが生きがいをもって楽しく暮らすことができ、希望をもち続けることができるまちをめざします。その「まちづくり」の先には、誰もが住みたくなるまち飛騨あさひがあります。

２．基本理念

「参加、創造、協働」
誰もがまちづくりに関心を持って参加し、みんなで考え、協力しながらまちづくりを進めます。
　また、行政をはじめ関係機関と連携を深め、まちづくりを進めます。

３．基本目標

（1）一人ひとりが生きがいと幸せを感じることができるまちづくり

（2）安心して暮らすことができ、将来に希望がもてるまちづくり

（3）人、自然、文化など地域の宝に自信と誇りがもてるまちづくり

４．基本計画

（1）人づくり、交流活動の推進

（2）防災・防犯、安全で安心な環境づくりの推進

（3）教育・文化振興、交流活動の推進

第４章　基本計画（主要施策）

	人づくり・交流活動
みらい創造部会	・町内会が実施する活動支援
	・広報発行、ホームページ作成
	・情報共有
	・地域課題解決に向けた学習会、研修会への参加
	・結ネット導入、活用推進
	・まちづくり人材育成活動
	・義務教育学校の実現
	・地域ぐるみで子どもの育成
	・ガヤガヤ会議の開催
	・子ども育成支援、若者活動支援（二十歳のつどい等）
	・中学生体験学習
	・高齢者活動支援
	・長寿を祝う会

	防災・防犯・安心安全活動
くらし環境部会	・地区防災計画の推進
	・防災活動の推進、防災訓練の参画
	・自主防災組織の強化と連携
	・消防活動への支援
	・災害時におけるボランティア名簿の作成
	・近隣見守りにより独居、高齢世帯、こどもの見守及び防犯活動支援
	・地域環境整備活動
	・緑化推進事業の推進
	・花いっぱい運動への支援
	・ごみステーション入れ替え設置
	・交通安全ゆっくり走ろう看板設置
	・結ネット活用及び推進
	・福祉、健康増進活動

	教育・文化振興活動、健康・福祉活動、環境保全・産業振興
まちおこし部会	・文化振興（文化祭開催）
	・教養活動の推進
	・川柳、フォトコンテスト（まち協カレンダー作成）
	・住民一人一人による朝日地域の特色を再発見する活動
	・地域交流イベント支援
	・地域住民の人的交流を図る活動
	・講演会
	・スポーツ振興活動
	・朝日の歴史、文化、自然を守り伝える活動（文化財保護活動）
	・地域の森林、河川と親しむ活動
	・地域団体の活動支援
	・農工商観光等関連組織との連携
	・新たな地域おこしの検討
	・農業、林業、観光を組み合わせたボランティア型体験活動
	・枝垂れ桜の里づくり事業の推進

「朝日ロゴマーク」

【お問い合わせ】
事務局：燦燦朝日館　２階
〒５０９－３３２５
岐阜県高山市朝日町万石８００番地
TEL 0577-77-9467　FAX 0577-77-9655
E-mail　asahi.machikyo@outlook.jp